

令和3年度 地域学交流集会 実施報告（HP版）

- ◆日時 : 11月7日(日) 13:00~16:00
 - ◆会場 : 遊学館第1研修室&オンライン(Zoom)
 - ◆テーマ : 地域づくりの進め方~地元の高等学校と連携した地域づくり~
 - ◆内容 : 近年、少子高齢化が進展する中で、学校を核とした地域づくりに取り組む市町村が増えています。その中で、特に地元の高等学校と地域、行政の連携・協働や、地域と学校のかけはしとなる青年の活動を学び、これからの地域学や地域づくりのあり方を探っていききました。
 - 13:00~ 開会・オリエンテーション
 - 13:20~ 【基調講義】「地域づくりの学び方」
 - 14:10~ 【シンポジウム】
 - ・南陽高校市役所部
 - ・高橋宏美氏(南陽青年団、山形県立南陽高等学校学校評議員)
 - コメンテーター: 嶋貫憲仁氏(南陽市みらい戦略課 課長)
 - 15:45~ 交流タイム
 - 16:00 閉会
- ◎コーディネーター・講師 一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人氏

- ◆参加者: 会場 23名 ほか事務局5名、 オンライン 22名
 - ※「山形学」連携講座団体、高校生、行政職員、教員、市民、保護者など

◆当日の様子

団体発表



講演の様子 廣瀬隆人さん



団体発表



南陽高校市役所部さん



高橋宏美さん



嶋貫憲仁さん



<参加者VOICE>

- ・若者の地域活動についての丁寧な説明がよかった。
- ・廣瀬さんの熱いお話や、市役所部さん、青年団さんの事例がとてもためになりました。
- ・住んでいる地域で、地域のために貢献できることが大切だと感じました。
- ・「人のつながり、知人・友人を増やす」ことが、地域づくりというお話がよかった。
- ・地域史を学び続けていく意義を明確にいただいた。
- ・地域づくりはつながりづくり。社会教育は接着剤であるということを改めて学びました。ありがとうございました。
- ・地域づくりのマニュアルは無いし、他地域の実践を学ぶ事はそれ程参考にはならないとおっしゃってましたが、かかわった方との熱量は伝わって来ました。刺激になりますね。
- ・「人のつながり」「助け合い」「迷惑をかけて進める」の精神が、福祉のめざす方向性とも全く同じでとても共感しました。
- ・地域学に取り組む意義について認識することができ、学校全体で体制を作っていく上での目的としていきたいと考えました。
- ・南陽高校市役所部の生き生きした意欲的な活動がよかった。まずは自分たちが楽しくという姿勢がとても大切だと感じた。
- ・自然発生的に湧き上がるアクションに対し、行政や地域の既存組織も目を向け、資金面・運営面の両面でバックアップする体制をとる必要があると感じた。
- ・同じ高校生の方々が地域のために具体的な計画を立て、実行していて、すごく刺激を受けました。